

GALVANIZE の FRAUDBOND

ワークフロー、データ アクセス、防御性、 および不正の軽減のための ベストプラクティス

FRAUDBOND は、データオートメーションを使って不正と汚職を検出、防止、改善するソフトウェアです。

政府、銀行、医療、製造、教育といったあらゆる業界の組織で、不正行為が発生しています。不正行為を防止するための最善の方法は、データを分析することです。従業員が、データパターンが検査され、トリガーが実行されていることを知れば、不正行為に関与しにくくなります。

FraudBond では、データを統合して分析することで、警告を発見することができます。ロボティックデータオートメーションは、不正のトレンドを検出し、マッピングすることで、不正を直ちに遮断します。

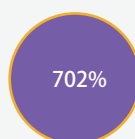
FraudBond が選ばれる理由

- 1 サンプルテストは行わず、取引データの全量分析を行い、重大な損害が発生する前に不正を検出することができます。
- 2 広範な業界のベストプラクティスが組み込まれている、不正分析のライブラリおよびツールを使用して取り組みを速やかに開始できます。
- 3 データの取得や分析にかかる時間が減り、不正行為の防止に時間をかけることができます。
- 4 ポリシー、統制、監視プログラムを関連付けることで、贈収賄・汚職防止コンプライアンスの合理化を図ることができます。
- 5 不正調査上の重要証拠がなくなることは絶対にありません。スプレッドシートと違って、完全な監査証跡が残るシステムですべての証拠を1箇所で保管できます。

毎月、「2万件」の取引が手作業でレビューされていました。今では [Galvanize を使用して]、10万件のすべての取引が継続的に監視されています。チームは、データの処理ではなく、改善に注力できるようになりました。」

- 政府行政部門、CIO 代理

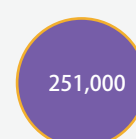
不正検査士は
FraudBond による結果を必要としています。



投資収益率。



業者への過払いの回避。



Pカードによる不正行為と悪用の防止。

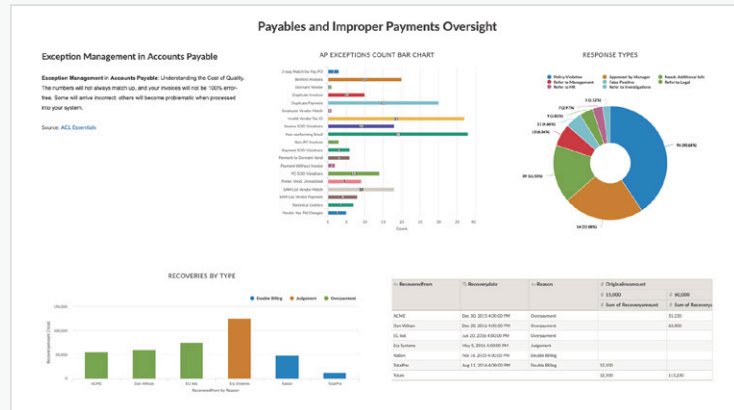


Figure 1: 不正支払いダッシュボード

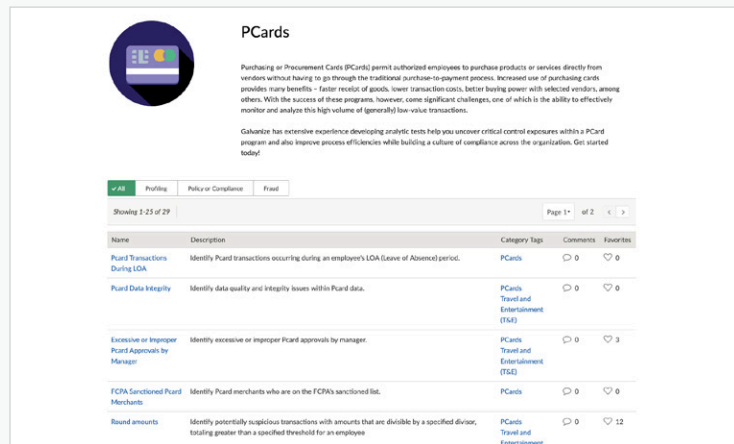


Figure 2: PカードプログラムのAnalyticsテスト

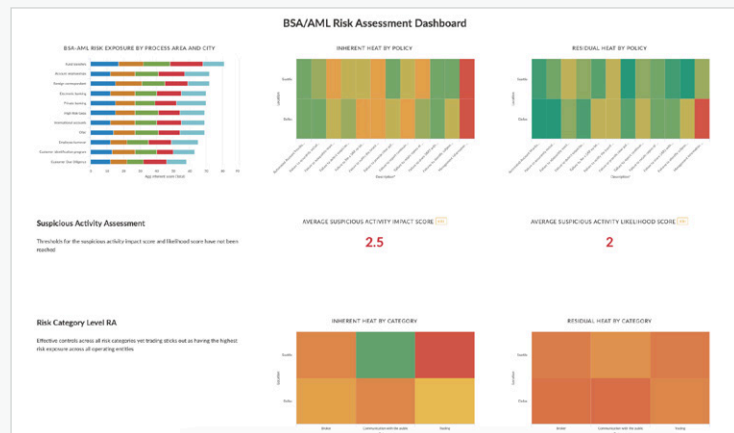


Figure 3: リスク評価ダッシュボード

特徴的な機能

プログラム全体の監視

- 1 統制の欠陥を評価、監視することで、不正および汚職のリスクを低減します。
- 2 ERP 統制の客観的な監視を実施します。
- 3 贈収賄、汚職 (例: FCPA, SAPIN II)、金融犯罪 (AML) 用の規制プログラムを管理するために、規制と基準を統合します。
- 4 匿名の内部通報窓口を通じて告発された不正行為の予兆を記録、調査、およびレポートします。

ISSUE 自動不正監視アナリティクス

- 1 リスクに基づくアプローチを不正行為プログラムに適用する。
- 2 簡単に内部および外部データソースに接続し、データ正規化を自動化します。
- 3 高度なアナリティクスや機械学習を適用して、データトレンドやリスクが高い活動を検出します。
- 4 不正行為が拡大する前に、違法行為を検出し、対応フローを自動化して、主要関係者への対応依頼通知を行います。

問題のエスカレーション、ケースマネジメント、調査

- 1 ルールベースのワークフローとトリガーを使って、問題のエスカレーションとケースマネジメントを自動化します。
- 2 タスクの割り当てとワークフロー機能を使用することで、レビューの割り当てを設定し、活動内容やメモを記録します。
- 3 ビルトインのケース管理を使用して、アイドル状態のレコードを検出し、エスカレーションします。
- 4 検出されたレコードへの対応、精査を実施するために、関係者に対して、証拠の収集や情報の提出依頼を行います。